

妙深寺報

HBS
NETWORK

2019
5

令和元年——
新しい時代の
生きたお寺
妙深寺



特集 令和元年・新生妙深寺発足!

【予告】「令和」最初のお会式——“開導会”にお参詣いたしましょう

- ・第一座 6月22日(土)10時～ 当山ご住職奉修
- ・第二座 6月23日(日)10時～ 博多光薫寺 小林信翠御住職奉修

◆令和元年「総祈願」の解説

◆4月 世代別お講奉修 ミドルエイジお講特集

◆菩薩の声

- ・旭教区 小泉美代子さん ・若葉教区 奥山美江さん

◆NewsFlash

- ・開導まつり 佛立ふれあい子ども大会
- ・町内観桜会 ・ボーイスカウト上進式
- ・青年会のコーナー ・壮年会かわら版



予告

「令和」最初のお会式 開導会



HBS supports the SDGs

第一座 6月22日(土) 10時～ 当山ご住職

第二座 6月23日(日) 10時～

博多光薫寺 小林信翠御住職

6月22日(土) 23日(日)には令和初の
会式、開導会が奉修されます。開導会の奉
修御導師は博多光薫寺の小林信翠御住職で
す。博多光薫寺は月刊誌「まごころ」をは
じめ、光薫寺保育園、特別養護老人ホーム
「光薫寺ビハール」の運営など、教育、医療
福祉の分野においても常に先進的な取り組
みをなされている寺院でいらつしやいます。
小林信翠御住職は、平成27年に住職継承
をなされ、情熱的な弘通家であることはも
ちろん、専門的な知識にも優れ、学術的な
研究にも秀でていらつしやいます。

特に最近では貧困や不平等、教育、環境
の問題に取り組むべく国連総会で採択され
た「SDGs (持続可能な開発目標)」の活
動にも積極的に取り組まれています。先日
は「SDGsおてらネットワーク」の活動
で、当山ご住職とともに原田義昭環境大臣
と面談され、SDGsと仏教との親和性、
現在お寺が抱える課題と未来へ向けたビ
ジョンなどお話をされました。今、もっと
も輝く若手御住職の一人でいらつしやい
ます。開導会にお参詣し、「令和」という新
しい時代を明るく進んでいきましょう！

令和元年 総祈願の解説

ご信者一同のその年のご奉公目標であり、信徒全員が御宝前に掲げ、毎日ご祈願をさせていただきたくお寺の入口

でも「総祈願」。例年は1月に更新をいたしますが、今年は5月に改元を迎えることにあわせ、妙深寺でも4月までは昨年の総祈願を継続し、この5月1日に新しい総祈願を掲げさせていただきますことになりました。

時代は、「平成」から「令和」を迎えました。これまでの数年間「新生妙深寺発足準備年」をテーマに、新しい時代の生きたお寺へと生まれ変わる、改良ご奉公を進めてまいりました。

昭和から平成にかけ、社会は大きく変化しました。一昔前では、男性は外で働き、女性は専業主婦で家を守るという考え方が一般的でした。しかし、男女平等の考え方や経済的な事情により、女性の社会進出が進み、現在では約9割の家庭が「共働き」といいます。

社会の構造は大きく変化を続けていますが、それに比べ、ご信心、ご奉公の世界はどうでしょうか。もちろん変えてはいけなくもありません。昔ながらの大切なものを守り続けている誇りもあります。しかし、ご奉公のあり方

が、専業主婦を対象としている部分もまだ多いと言えます。

ここ数年来、妙深寺では様々な改良ご奉公を進めてまいりましたが、まだその多くは改良途上にあります。これからも継続して大改良のご奉公に取り組んでまいります。

《上欄》

高祖日蓮大士ご降誕八百年慶讃
先住日爽上人御二十三回忌報恩
(令和4年・2022年)

令和4年(2022年)に、高祖日蓮大士ご降誕八百年と、先住日爽上人御二十三回忌という二つの記念の年を同時に迎えます。この年を節目として、

様々なご奉公の目標を定め、取り組んでまいります。

《右肩》

新しい時代の生きたお寺・
妙深寺総祈願

新しい時代の生きたお寺・
妙深寺総祈願

一般的な「お寺」のイメージは、お葬式や法事といったものではないでしょうか。本来のお寺、本当のお寺の存在意義とは、生きている人が集い、悩み苦しみを解決する場所であり、人々が祈り、寄り添い、支え合って、生きていく力をもち場所であるべきです。今まで目指してきたように、妙深寺が、これからもそうした新しい時代に即応した「生きたお寺」としてご奉公させていただきますことを表明するため、ここに一行設けました。

《本文》

家族のため 国のため
世界のため 自分のために

世界のため 自分のために

願いを祈りへ 想いを言葉へ
出会い ふれあい 認め合い
御題目を唱え お参詣 御法門聴聞
お助行とお教化の実践

今回の総祈願は3行で一つのご祈願を表しています。私たちの祈りは、自分だけでなく、家族や国、そして世界に影響を及ぼすことができます。自分が大切に思ふ、愛する人のためはもちろんです。自分を嫌っている人も幸せになつてほしいと願うのが「菩薩」の祈りです。そのためには漠然とした「願い」を「祈り」にまで昇華しなければなりませんし、心の中で思っているだけでなく、想いを言葉にしなければ伝わりません。そうして出会った人と、ふれあい、お互いの価値観を認め合って尊重する。そして、そこからご信心を勧め、共に御題目を唱え、お参詣や御法門聴聞に励み、そしてお助行やお教化が実践できますよう、みんなでご祈願をさせていただきますよう。



高祖日蓮大士ご降誕800年慶讃
先住日爽上人御23回忌報恩
(令和四年・2022年)

新しい時代の生きたお寺・妙深寺総祈願

家族のため 国のため
世界のため 自分のために

願いを祈りへ 想いを言葉へ
出会い ふれあい 認め合い

御題目を唱え お参詣 御法門聴聞
お助行とお教化の実践

本門佛立宗 妙深寺

新しい時代の生きたお寺・妙深寺総祈願

家族のため 国のため
世界のため 自分のために

願いを祈りへ 想いを言葉へ
出会い ふれあい 認め合い

御題目を唱え お参詣 御法門聴聞
お助行とお教化の実践

本門佛立宗 妙深寺

令和元年～



総祈願

4月世代別お講奉修

昨年からスタートした「世代別お講」。昨年3回の奉修では、手応えを感じながらご奉公させていただきました。本年も継続して、4月、8月、12月に奉修をいたします。「世代別お講」とは、従来、部(地域)ごとに奉修されていたお講を、教区内の年齢・世代に分け、60代以上は「シニアお講」、30代後半〜50代は「ミドルエイジお講」、10代〜30代前半は「青年会お講」として奉修し、特にミドルエイジお講では次世代信徒の育成と法灯相続を目指し、シニアお講でも60代の新しい方をお誘いしようと、それぞれの世代ごとに新しい輪を広げていくご奉公

を重ねています。

今年の第一回目の世代別お講が4月に奉修されました。ここでは各連合または教区で奉修された「ミドルエイジお講」の様子をいくつかご紹介いたします。

《三ツ沢教区》

三ツ沢教区のミドルエイジお講では19名のお参詣があり、初めてお参詣された方が6名もあり、皆さんに改めて自己紹介をいただきました。第二部はお寺から横浜駅へと場所を移し、店内でバーベキューができるお店で親睦会を開催しました。



《三ツ沢教区》

《臨港教区》

臨港教区のミドルエイジお講は、親睦と団結力を深めるために、グループに分かれて餃子作りをしました。それぞれに指示を出し、役割分担が自然とでき、短時間でプロもビックリのおいしい餃子ができあがり、野菜炒めやスープとともに堪能いたしました。



《臨港教区》

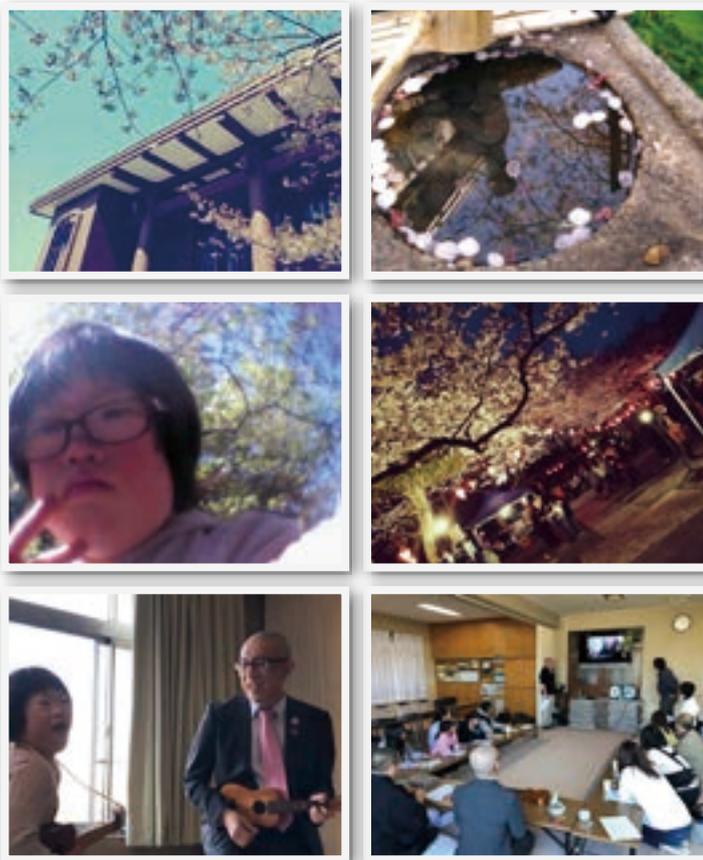


《港北連合》

今回は、港北連合として、若葉教区、新横浜教区合同でミドルエイジお講を奉修しました。第二部は境内地でバーベキューを行いました。ホットドッグにおもちなど、バリエーション豊富なメニューでおなかも大満足。ミドルエイジ世代の交流ができました。



《港北連合》



《戸塚教区》

泉教区のミドルエイジお講は、兼子正暢さんのお席で奉修されました。今年のお初めからミドルお講の予定をあげていただくようお願いをして、昨年は最高でも3名のお参詣だったところ、なんと8名のお参詣があり、さらに5名の方に初めてお参詣いただきました。お看経、御法門の後、ご供養のカレーをいただきながら交流会を行い、次回のミドルエイジお講の日程と内容をお話し合いました。

《泉教区》



《泉教区》

《戸塚教区》

戸塚教区のミドルエイジお講では、御法門後に感じたことを一人ずつ発表しました。このスタイルは好評で、今後も続けて行く予定です。

ご供養の後に、「プロが教える写真術」と題し、境内に出て「妙深寺といえば」をテーマに写真コンテストを行いました。投票の結果、ミドルエイジの部は平石繁さん、ジュニアの部は寺西萌音さんが選ばれました。その後、プロカメラマンである寺西昭博さんにプロ目線で撮影のポイントを説明していただきました。その後、さらに大広間はライブステージにチェンジ！熱いシャウトが響き渡りました。

《中央連合》

臨海教区、星川教区、旭教区は、中央連合としてミドルエイジお講を奉修しました。第一部は本堂でお講を奉修し、第二部は大広間に移り、チームに分かれて「マシユマロタワー立てゲーム」で親睦を深めました。このゲームは、乾燥パスタ20本、マスキングテープ90cm、ひも90cmという限られた材料でチームで協力して自立可能なタワーを立て、頂上のマシユマロの高さを競うゲーム。パスタは意外と折れやすく、テープが足りなくなったり、高くできても自立できなかったりと、各チーム試行錯誤。チーム内で話し合いを重ねる中で自然な形で交流ができました。



《中央連合》



4月教区お講にて

孫が専門学校で文部科学大臣賞を受賞 ご奉公で学んだ経験が活かされていると思います

旭教区 小泉美代子さん



伊藤孝子さん：小泉美代子さんのお孫

さん、20歳の小泉真美さんのお話です。彼女はいつ会っても笑顔の素敵なお嬢さんで、三大会ではいつもピシッとお着物を着て、ご祈願札の受付のご奉公をされています。私は真美ちゃんが背筋をピンと伸ばしていて、いつも可愛くて素敵だなと思っていました。そうしたらちょっとした出来事がありましたので、小泉さんに発表していただきます。

小泉美代子さん：うちにとっては大事な件なんです。

孫の真美は、去年高校を卒業して、横浜駅の近くにある専門学校でブライ

ダル科に入学したんです。それから一年が過ぎた、ちょうど去年の終わりに、検定があったんです。その検定というのは、今年からブライダル科も国家試験制度になりました。今年の卒業生から国家試験を受けるらしいんですが、そこで検定というものがあって、その結果がとも良くて、「文部科学大臣賞」をいただいたんです。

ご住職：それはすごい！どうやって取れるの？論文とか所作振るまいの実技とか？

小泉さん：なんか実技でやってきたみたいなんです。表彰をされまして、学校でも過去に生徒でそういう人はいなかったそう。ビックリしました。今の検定では準一級なんですけど、「このまま続ければ一級も取れるから頑張りたいな」とって先生から応援されたそうです。

みなとみらいに「アニヴェルセル」というすごく大きな結婚式場があるんですが、そこは本当に素敵な建物で、観覧車の前で、夜なんか通ると本当に「こんなところで結婚式が挙げられたらいいな」とって私なんかでも思っくら

いのところなんです。それに憧れて、彼女はブライダルプランナーになられて勉強しています。国家試験制度になつてから、学校からインターンに行かなくてはいけなくなったそうなんです。先生が推薦してくださって、憧れのアニヴェルセルにインターンに行っています。

あとこの一年、なんとか頑張つて無事に卒業できるようにと願っています。

ご住職：いいですね。アニヴェルセルで仏教式の結婚式やってもいいな。完全にキリスト教の教会だけだ(笑)。

小泉さん：まだまだ先のことなのでどうなるかわからないんですが、どうか彼女の願いを叶えさせてあげたいと思つて、おばちゃんも頑張つて応援するから、自分でも頑張りたいね、という事で、学校の帰りに居酒屋さんでアルバイトして、土日は式場に行つてという感じで、本当に頑張っています。

そしてその中で、御法さまに何度もお願いしたつて、御法さまだつてちゃんと真美ちゃんの行動を見て、どこまでお願いを叶えてくれるのかは、あな

たがたくさん努力をして、御法さま、ここまで頑張つたから真美がなんとかこういふふうになれるように、っていう自分の努力を怠らないようにして、朝行く時に、3回でも、10回でもいいから、御題目を唱えてねと、いつも言っているんです。

それから、やっぱりご祈願札のご奉公などで経験させていただいている普段の姿勢や、日常の所作振るまいの経験が、こうした結果に活かされているんじゃないかなと思つんです。

だからこの間、彼女に「妙深寺では青年会の女の子たちが着物を着てご奉公できる場がある。それは、こういうご信心があつて、妙深寺があるからこそ、させていただけること。これは本当にありがたいことなんだよ」と言つたら、「分かつてる」と言つてくれたのが嬉しかったです。

いずれ、どういう形になるかわかりませんが、社会に出て、妙深寺の中でも結婚式とかそういうことでお役に立てることがあればと思つています。

ご住職：ありがとございます。頑張つてほしいですね！



4月開導総講にて

病院で頑張っているお義父さんのため 「家族お講」を受けさせていたただきました

若葉教区 奥山美江さん



若葉教区の奥山美江と申します。どうぞよろしくお願ひします。

私は2014年に結婚してからのご信心に出会いました。すぐに娘が産まれたので、あまりよく分からないまま仕事と家事子育てと毎日バタバタと過ごしています。夫の彰宏さんに誘われてお寺に一緒に来たり、お義母さんの昌子さんに声をかけてもらってお講やご回向、お会式

などにお参りをしています。

いま住んでいるところに2年前に引っ越しをしまして、そのときにお義母さんが何度か「家族お講を受けよう」と声をかけてくださっていたのですが、私自身あまりピンと来ていなくてそのまま毎日過ごしていました。

去年からお義父

さんが入院しており、今年1月の寺報に「家族お講」の説明が載っており、「いま私たち家族が一丸となって心を一つにすればお義父さんに奇跡が起こるかもしれない」と思い、彰宏さんに「家族お講を受けよう」と伝えました。

2月の寺報を見てもまた裏表紙に「家族お講」のことが載っており、早くやいなさいと言われていた気持ちになりました。

彰宏さんがお義母さんに伝えてくれ、すぐに清願師が日にちを決めてくださって、2月17日に家族お講をしていたことができました。

1月末から入院していたお義母さんもちょうどその前の週に退院でき、お義父さんも急変することなく容態も落ち着いており、無事にできたことが本当に奇跡でした。

またお義姉さんの享子さんも飛び入りでお参詣してくださり、私は本当に嬉しかったです。

いま子どもが3歳で、元気に動き回る中でのお講でしたが、清願師のお話はとても分かりやすく、娘にも優しくしてくださって、家族で温かい家族お



講ができました。

お義父さんは今も病院で頑張っておられるので、これからも益々家族で心をつなげてお義父さんのこと、またお義母さんの怪我が良くなるようにとお願ひしたいと思っています。

お寺に家族でたくさんお参りし、家でお経をたくさんしようと思っています。ありがとうございます。

3月31日 開導まつり 佛立ふれあい子ども大会



3月31日、開導聖人のお誕生日（4月1日）を祝う、「開導まつり佛立ふれあい子ども大会」が開催されました。

前日夜から降り始めた雨は明け方にはすっかり上がり、すがすがしい青空の中、今年はずいぶん満開の桜に囲まれた華やかな境内地に子どもたちの声がこだましました。

午前中は第一部で、本堂でお看經と、開導聖人のお誕生日を祝い、お写真に子どもたち全員でローソクを献灯しました。お給仕や御宝前係も子どもたちがご奉公。お看經の中で、新・教養部長の小菅久美子さんを筆頭に、今年の教養各会の誓願「私たちの誓い」を言上。その後、教養各会の辞令をいただき、助成金を交付いただきました。今年も各会役員一同、異体同心でご奉公させていただきました。そして、小・中、新入学生の紹介があり、みんなの前でお祝いいたしました。

柴山局長からは、「各会 私たちの誓い」を発願されました。一年間の活動を通して、人のために何ができるのかを考える菩薩を目指して活動してください。各会へ交付させていただきます。いただいた助成金は、御法さまからの大切な浄財です。大切に活用してください」とご挨拶いただきました。

また、今回のご供養は、SDGs（環境問題）に配慮し、参加者にお弁当箱を持参していただき、ムダなゴミが出ないようにし、境内地に環境問題に関する展示も行いました。

午後には第二部として、境内地のプログラムです。第二部には、近隣のお子さんたちにも声をかけ、参加をいただいております。

まずはご任職のご法話。オカミに育てられた少年の話から、人間は人間に育てられなければならない。人間にない。人間になって、幸せな人生を送るためには、「学ぶ」ことが大切。学校に行くことも、お寺の薫化会や青年会、ボーイスカウトやガールスカウトでもいろんなことを「学ぶ」ことができる。これはあたりまえじゃない。「有ることが難しい」から「有り難い」なんだ。感謝を忘れず、いっぱい学んで、幸せな人生を歩んでほしい、とお話しいただきました。

その後、教養各会企画のポイントを巡るラリーで、ふれあいの森では新しくテック付きにリニューアルされたツリーハウスを中心に、ボーイスカウトのキムスゲーム、ガールスカウトのマシユマロサンド、壮年会が設営したジップライン、他にも青年会が射的やボーリングゲーム、薫化会がローソク作り、松風会の皆さまからはお手玉など昔の遊びを教わりました。

参加者は、子ども87名、大人164名、計251名で、子どものうち約半数の40名が近隣の方でした。これからも、子どもたちの未来のため、三世代で楽しめる唯一の行事として、大切に企画・運営していきたいと思えます。ご奉公の皆さま、ありがとうございました。（延）



“私たちの誓い”

かねてより妙深寺では、縦糸を教区、横糸を各教養会として、相互に交わりながらご奉公をさせていただいております。

「高祖日蓮大士ご降誕八百年つづれ織り運動」の本年、妙深寺は「新生妙深寺」発足の年となります。

革命的に変化を遂げている現代社会の中で、私たち教養会は、より強い「横糸」として、妙深寺の「佛立魂」を正しく受け継ぎ、次の時代へつなぐご奉公をさせていただきたく、平成三十一年度教養部弘通誓願として、御宝前に各会お誓いをさせていただきます。

《薫化会》

一、各教区と協力し、お寺やお講へ家族そろってお参詣できるよう、家族の絆を大事にし、家庭内の信心増進を深めます。

一、「ほさつのたまご 七つのチャレンジ」に率先して取り組み、御法さまとのお約束をしっかりと守れるリーダーを育成します。

一、他の会と協力し、生きることのあるがたさや自然の大切さを親子で考えられるお講や野外活動の充実に努めます。

《青年会》

一、広報・将引活動に力を入れ、活動に参加しやすい雰囲気づくりを心がけ、新会員増加を目指します。

一、お講や錬成会を通して、役員の信心増進とモチベーションアップに努めます。

努めます。

《ボーイスカウト》

一、スカウトイングの本質を意識した活動を実践します。

一、組織拡張活動の充実を図り、スカウトの輪を広げるよう努めます。

一、若手リーダーの育成と、既存リーダーの自己研鑽を推進します。

《ガールスカウト》

一、寺内の行事等に参加し、ガールスカウトが寺内で活動していることを地域に広め会員増強につとめます。

一、スカウトの個性を伸ばし、必要となる技術を身につけ人に役立つこと、人に伝えることのできる内容を集会に取りいれます。

一、地震、豪雨、台風など毎年多くの災害が起きています。備蓄品や避難袋、避難所を確認し、そなえをつねに実践し、自ら考え行動できる人となれるようします。

一、ご信者層との交流を深めスカウト活動への理解をいただき、4月7日にやさしい心の豆知識の研修会を開催し、団は明るく活動いたします。

《松風会》

私たち松風会は、日々私たちをお導きくださる御法さまに感謝し、妙法のお教えを尊び、ご奉公にお着縁お参詣に精進させていただき、功德を積んで参ります。

私たち会員一同が人としてのつながり大切に、語り合い、助け合っ、心をひとつに、御法さまにお仕える喜びを持って、ご奉公に邁進することを誓い申し上げます。



3月30日 町内観桜会



今年の「町内観桜会」が3月30日に開催されました。毎年、桜の開花状況は悩みの種です。昨年は満開を過ぎてしまったので、今年こそは！と1週間早い3月30日に設定。しかし今年は暖冬の影響で桜の目覚めが遅くなるかと心配されましたが、まさにちょうど満開の美しい桜の中で平成最後の町内観桜会を迎えることができました。当日の予報は曇り時々雨。お天気の崩れも気になりましたが、雲間から晴れ間も覗く中、境内地には多くの町内の方々が集まり、賑わいを見せました。



また、こちらも恒例となった、境内地でのカラオケ大会も相変わらず子どもたちに大人気で、申し込みが途切れることなく、子どもたちの可愛い歌声が響きわたりました。何よりありがたかったのは、今年から始まった祈願所コーナーの大盛況。本堂ロビーに簡単な御戒壇をご安置させていただき、ご祈願カードを用意して、来ていただいた方が気軽に祈願を書き込んで、担当の教務が5分程短いお経をさせていただくという結縁のコーナーです。意外にも子どもたちが、「これやりたい！」と親御さんを連れて参加するケースが多くあり、20名ほどの結縁者が、日常の大小様々な悩みをご祈願されていました。

20時頃にはわかには雲行きが怪しくなり、雨天に見舞われてしまい、例年より早い幕引きとなりましたが、今年は開始時間を1時間早い17時としたことで、美しい桜の下で最後まで食事にかラオケに皆さま楽しんでおりました。

参加人数は、大人166人、子どもはなんと122人！この少子化の時代に年々来てくださる子どもたちの数が増え続けているのは本当にありがたいことです。

多くの皆さまの記憶に残り、結縁のご奉公となるよう、来年は令和初の観桜会、さらにパワーアップしてご奉公させていただきたいと思っております。ご奉公いただいた皆さま、ありがとうございました。(恒)



4月7日 ボーイスカウト上進式



ボーイスカウト横浜第35団では4月7日に上進式を行いました。上進式とは、小学生年代のカブ隊から中学生年代のボーイ隊に進級するための式典です。

今年は2名のスカウトが上進しました。2人ともカブ隊の活動に励み、この2人の門出を祝うため、素晴らしい景色、素晴らしい場所で実施したいと、場所選定には悩みました。

結果、ボーイスカウトにゆかりのある地、「こども国」に決定。

米軍に接収されていたこの土地は、その返還交渉の際、日本側、アメリカ側の交渉人が2人ともボーイスカウト経験者であることが分かり、会談ではボーイスカウト談議に花が咲き、会談の最後、今まで態度を変えなかった米国側担当者が態度を軟化させ、結果として返還が実現したという経緯があったそうです。

また、ボーイスカウトの逸話の一つである「無名戦士のレリーフ」があることも「こども国」を選定した理由の一つです。

4月7日は桜満開の予想日から一



週間後。あきらめていたら、なんと今年の桜は一週間以上もち、絶好の舞台上で上進式を執り行うことができ、本当に嬉しかったです。

満開の桜をバックにカブスカウトの制服からボーイスカウトの制服に着替えます。真ん中にひかれているのは一見ブルーシートですが、我々は「上進の川」と呼びます。

カブスカウトの岸からボーイスカウトの岸にジャンプして渡りますが、一度渡ったら後戻りすることはできません。こうして、上進する子どもたちもボーイスカウトとしての区切りをしっかりとつけます。

新しい制服に着替えた子どもたちはタプタプの姿ではありますが、やる気に満ち溢れた姿。これからの活躍が楽しみです！

リーダーも上進する彼らの姿を見て、気持ちを引き締め直した素晴らしい上進式でした。

（ボーイ隊副長 平行行雄）

あなたのお話、聞かせてください

僧侶の無料相談

時間：30分 費用：無料

青年会のコーナー

☆3月31日 開導まつり

この日は、開導聖人のお誕生日をお祝いする開導まつりでした！1部では、青年会の今年度の活動の誓願をさせていただきました。今年度は、参加しやすく充実した活動ができる雰囲気づくりをしていき、ひとりでも多く、一緒に活動するメンバーが増えるよう取り組んでいきたいと思っています！

2部では、くんげ会や地域の子どもたちに向けて出し物をしました。青年会は、スーパーボールすくい、ペットボトルボーリング、射的を手作りで行いました！子どもたちはみんなとても楽しそうに遊んでくれて、私たちも一緒になって楽しむことができました。

子どもが笑顔で、安心して過ごせる場所がお寺であるとの、とても有り難いことだと思います。

子どもから学ぶことはたくさんあります。これからもこの場所を大切に、私たちも一緒に成長していけたら嬉しく思います！

(Miyu)



あなたは「**農薬**」が
使われたお茶を
選びますか？

JIYU BRAND Yahoo!店
(株) 独立生活文化研究所

ボウズ茶屋

有機無農薬栽培宇治茶
地涌緑茶シリーズ



今西製菓コラボレーション
地涌緑茶 茶飴



焼きそば店開店!

町内観桜会 3月30日(土)

少し天気が怪しい中での町内観桜会が午後5時より開催。壮年会は午後1時より出仕して焼きそば作りの準備をしました。恒例になった壮年会の焼きそば作りですが一度に多くの方が来られるので作り置きをするなどいろいろ工夫をして対応しました。境内は満開の桜で絶好のお花見日和となりましたが、8時頃にはとうとう雨が降り出し自然解散となってしまいました。それでも子ども達のカラオケが会場一杯に広がり大いに盛り上がった観桜会となりました。



ジップライン再開

開導まつり(佛立ふれあい子ども大会)
3月31日(日)

前日の雨も止み今日は薄曇りの天気ですが境内は満開の桜で一杯になりました。午前11時より開始。午前中の第一部ではお看経・発願式・助成金の交付辞令・薫化会の入進学者の紹介などをし、昼食は壮年会・婦人会のみなさんが用意したご馳走をいただきました。

第二部は午後1時から開始。ご住職のご法話・BS・GSのお友達紹介などがあり、以後遊びのコーナーでは各会が担当したイベントで楽しく遊びました。壮年会は子ども達の要望に応えジップラインを2年ぶりに再開することにしました。昼食は焼きそば・フランクフルトを担当しました。



▲境内地は満開のさくら



報告：黒崎

読者の声・写真募集中!

妙深寺報は、妙深寺のみんなで作る機関誌です。妙深寺報に皆さまの声や写真を掲載しませんか? ご意見・ご感想・最近思ったこと・サークル募集・自慢の家族の写真など、メールやファックスなどで編集部までお送りください。

E-Mail jiho@myoshinji.jp
FAX 045-322-3419

妙深寺インフォメーション Myoshinji Information



**インド、ネパール、スリランカにて
鋭意ご奉公中!**
INS国際弘通基金にご協力ください!

三菱UFJ銀行 新横浜支店 (店番215)
普通預金 口座番号 0272810
口座名義 HBS NETWORK
宗教法人妙深寺 代表役員 長松清潤

5月26日(日) 10:00~

●新入信徒お講

~ご信心の基本をわかりやすく~

場所: 第二本堂和室

昨年からはまった「新入信徒お講」。新しくご信心を始めた方に向けた、ご信心の基本を分かりやすく学べる講座です。誰でも自由に参加OK。教化親子で! 法灯相続家族で! 改めてご信心を学びたいご信者さんも、どなたもふるってご参加ください。5回1クールで、年間に2クール開催いたします。

■今後のスケジュール

5月26日(日) 第4回「お参詣について」(清顕師)
6月30日(日) 第5回「菩薩行について」(清信師)



お寺でポーズヨガ



ヨガと仏教の力で
心も身体もリフレッシュ

5月25日(土) 16時半~

参加費 1,000円

Dose's Bar
Lotus

毎月ひと晩だけ開店する語らいの場
ポーズバー「ロータス」

次回は**5月25日(土) 18時 Open**

どなたもお気軽にご参加ください!

行事予定

5月

- 1日10時 月始総講・日博上人ご祥月法要
- 3日10時 松風会お講
- 10日19時 事務局会議
- 11日10時 布教区婦人会錬成会（ワークピア横浜）
- 13日 6時半 高祖総講
- 17日10時 開導総講・婦人会教養会
- 19日19時 教講推進会議
- 25日 8時 門祖総講
- 10時半 開導会人事打合せ
- 16時 お寺でポーズヨガ
- 18時 ポーズバー“ロータス”開店
- 26日10時 新入信徒お講④「お参詣について」

6月

- 1日 8時 月始総講併日歡上人ご祥月法要
- 22日10時 **開導会第一座 当山ご住職**
- 23日10時 **開導会第二座 小林信翠御住職**
- 29日14時 100万人のクラシックライブ
- 18時 ポーズバー“ロータス”開店

※6月は現在決定している行事のみ掲載しています。



本門佛立宗 妙深寺

〒221-0856 神奈川県横浜市神奈川区三ツ沢上町22-1
 ☎ (045)321-7690 FAX (045)322-3419
 WebサイトURL <http://myoshinji.jp>
 メールアドレス info@myoshinji.jp

●市営地下鉄「三ツ沢上町駅」下車、徒歩10分
 ●JR横浜駅から市営バス50系統、「神大寺入口」下車、徒歩5分



ご住職のブログ「Seijun's Blog」毎日更新中!

<http://myoshinji.jp/> ヘアクセス!!

ご住職への相談・質問など、メール受付中
seijun@butsuryushu.or.jp

妙深寺報 令和元年5月号(第469号)

発行：本門佛立宗 妙深寺・局長 柴山迪昭
 編集：広報出版部
 住所：横浜市神奈川区三ツ沢上町22-1
 ☎ 045-321-7690 FAX 045-322-3419
 寺務所：info@myoshinji.jp / 編集部：jiho@myoshinji.jp

《寺報賛助基金のご案内》

妙深寺報など弘通広報活動へのご協力をお待ちしております。

●郵便振替 口座番号 00250-6-131490
 加入者名 妙深寺

※郵便局で【郵便振替払込用紙】に「寺報賛助基金」と明記し、ご依頼者名・住所をご記入の上、お手続きください。

「令和元年」。ついに改元の日を迎え、新たな時代が幕を開けました。過去に浸る間もなく様々な場面で書類や手続きの変更が追われ、慌ただしく改元を迎えたという方も少なくないのではないのでしょうか。昭和は63年間、平成は31年間。凄惨な戦争を乗り越え、現代社会の先端に立つまでに発展した日本。しかし、近年は社会的にも、経済的にも見通しの悪い世の中となっております。輝かしい希望をもってこの新しい時代を作り上げていきたいと願うばかりですが、痛ましいニュースは後を絶ちません。一寸先は闇の世の中、ご信心という光を指針として、新たな時代を家族そろって、明るく、健やかに過ごせるよう、心新たにご信心に精進させていただきます。

しんじゆ

誰ひとり取り残さない 未来のために 私たちが できること



HBS supports the SDGs

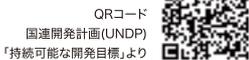
本門佛立宗は2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」
サステイナブル ディベロップメント ゴールズ エスディー・ジーズ
“Sustainable Development Goals: SDGs”
に賛同します。

2015年9月、国連総会において「持続可能な開発目標(SDGs)」が採択されました。
2030年までに現在生きている人はもちろん、未来の世代までも含めて「誰ひとり取り残さない」という理念のもと、先進国・新興国の別なく、あらゆる国と地域が貧困や不平等、教育、環境など17の目標と169のターゲットの達成を目指すものです。

本門佛立宗は「浄仏国土」を掲げる宗団として「私たちの暮らす地球をよくしてゆく、そのために自分にできることを行っていく」ことが仏教の目指すものであり、ご信心に通じると考え、この目標に賛同いたしました。立正安国、ご弘通、菩薩行との関連を考慮し、さまざまな活動によって貢献してまいります。

SDGsを知ることからはじめよう

貧困をなくそう、安全な水を世界中に、エネルギーをみんなに、そしてクリーンに。
「持続可能な開発目標(SDGs エス・ディー・ジーズ)」は、世界を変えるための壮大な目標で、その実現には世界中の協力が必要です。とても自分のかかわる話ではないと思うかも知れませんが、そうではありません。変化は私たち一人ひとりから生まれます。
みんなの力を合わせて問題を解決してゆくのですが、まずはどんな目標があるのか17の目標(ゴール)を知ることからはじめましょう。



目標1. 貧困をなくそう
あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる



目標2. 飢餓をゼロに
飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する



目標3. すべての人に健康と福祉を
あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する



目標4. 質の高い教育をみんなに
すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する



目標5. ジェンダー平等を実現しよう
ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う



目標6. 安全な水とトイレを世界中に
すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する



目標7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する



目標8. 働きがいも経済成長も
包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する



目標9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る



目標10. 人や国の不平等をなくそう
各国内及び各国間の不平等を是正する



目標11. 住み続けられるまちづくりを
包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する



目標12. つくる責任 つかう責任
持続可能な生産消費形態を確保する



目標13. 気候変動に具体的な対策を
気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる



目標14. 海の豊かさを守ろう
持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する



目標15. 陸の豊かさを守ろう
陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する



目標16. 平和と公正をすべての人に
持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する



目標17. パートナーシップで目標を達成しよう
強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る

(国際連合広報センター 2030アジェンダより)

どんな取り組みができるのか
お寺で出来ること、御講席や自宅出来ることを
みんなで語り合い
考えることからはじめてゆきましょう。